自立・敬愛・創造

学びに向かう力を育み、ともに励みあう学校

和田山中学校学校だより　令和４年３月１０日号

今年になってからの大雪で、校庭に残っていた除雪された雪がようやく溶けました。３月も中旬となり、暖かい日が多くなってきました。

３年生は昨日、卒業式が終わり、明日、３月１１日(金)は公立高校の学力検査があります。合格発表は３月１８日(金)に予定されています。１・２年生は、まん延防止等重点措置が延長されたため、卒業式には参列しませんでしたが、式場準備や３年生教室の飾り付け、校舎内外の清掃等を行い、卒業式後には花道をつくり、３年生のみんなを暖かく見送ることができました。

３年生は卒業しましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、１・２年生は進級に向け、残りわずかな３学期を頑張って生活しています。

＜第７５回 卒業証書授与式＞

３月９日(水)に、令和３年度 第７５回 卒業証書授与式を挙行しました。新型コロナウイルス感染症が拡大し、兵庫県内にまん延防止等重点措置が出され、３月２１日(月)まで延長になったため、昨年同様に在校生や来賓については参列しない中で、式を行いました。卒業生１２５名は卒業証書を受け取り、和田山中学校での３年間の生活を終え、新しい目標に向かって旅立っていきました。参列はできなかった在校生は式場の準備など、心を込めながら取り組んでくれました。その姿を見ていると３年生が残してくれた、和田山中学校の素晴らし伝統を、１・２年生が引き継いでくれると確信しました。在校生の皆さん、今後の頑張りに期待しています。

卒業証書授与式の時の在校生の送辞と、卒業生の答辞を紹介しておきます。

【送辞】

冬の風も日ごとに和らぎ、新しい蕾が日増しに膨らみ始め、暖かな春の訪れを感じる、今日の良き日に、晴れて和田山中学校を卒業される、１２５名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は上級生として生徒会活動、部活動で優しく、時には厳しく接し、いつもリードしてくださいました。そんな皆様の卒業が、こんなにも早く来てしまうことに対し、信じられないような気持ちと共に、寂しさが込み上げてきます。

先輩方は、常に私たちの前を頼もしく歩いてお手本となってくださいました。体育大会の練習の時には、リーダーシップを発揮し、私たちに優しく丁寧に接してくださいました。練習の回数こそ少なかったものの、全校生の誰もが楽しめる和志成願にしようと一生懸命考えてくれていた姿が強く印象に残っています。

本番では、練習の時以上の気迫と、あふれるような笑顔で力を合わせ、最高の表現を創りあげていらっしゃいました。。どの色の団の先輩も、きらきらと輝き、体育大会の目標『輝』の通りの姿を率先して私たち在校生に見せてくださいました。

さらに、文化祭では、先輩方の調和のとれた歌声に圧倒されました。誰もが力一杯歌声を響かせているのが聴いていて伝わってきました。歌詞に込められた意味と、きれいなハーモニーを奏でる歌声が、とても美しく、素敵で、感動したのを今でも忘れられません。

私たちは、体育大会での先輩方の雄姿、文化祭での圧倒的な努力と協調性。また、部活動や日常生活でも全力で前に進む努力を絶やさない先輩方を頼りに思い、尊敬の念を持ってみてきました。

本日、和田山中学校を卒業されて、それぞれの道を歩まれる先輩方にもこれからの人生で、困難に直面することがあるかもしれません。しかし、そのような逆境にも負けず、くじけず、前に進み続けていかれることを祈っています。

最後に、私が好きな野球選手のイチローさんの言葉を先輩方にお送りしたいと思います。

「壁というのはできる人にしかやってこない。超えられる可能性のある人にしかやってこない。
だから、壁があるときはチャンスだと思っている。」

どんなことがあっても、先輩方の素敵な笑顔を忘れず、それぞれの道へ進んでいかれることを在校生一同、心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

令和４年３月９日　　在校生代表　　稲田 花奈

【答辞】

厳しい冬の寒さもようやく和らぎ、日差しの中に春のあたたかさを感じさせるこの佳き日、私たち１２５名は思い出多き和田山中学校を卒業します。

振り返ると、長いようであっという間だったこの三年間。様々な思い出が心の中に浮かんできます。三年前の２０１９年４月１０日・私たち１２５名は、真新しい大きめの制服とこれから始まる学校生活に期待と不安を抱きながら、初めて校門をくぐりました。そんな私たちを暖かく迎えてくださった先生方や先輩方のおかげで、その不安もすぐになくなり、新たな仲間と出会いに期待が高まりました。

後輩ができ、先輩を今まで以上に見習うようになった二年生。進級してすぐに、二か月の休校となり、仲間との再会が遅くなりました。その後は、分散登校になり、六クラスに分かれての学校生活をするなど、少しずつ日常の生活に戻っていきました。トライやる･ウィークでは、新型コロナウイルスの影響もあり、トライやる･デイとして１日だけの活動となりました。１日という短い時間の活動でしたが、事業所の方々や先生方の協力もあり、働くことの大変さややりがいを感じ、働くことの大切さを学ぶことができる貴重な時間を過ごせました。

最上級生となった３年生。「和顔愛語」のスローガンのもと、笑顔と優しい言葉かけ、そして、人を思いやる心をもって毎日を過ごしました。一つ一つの行事や一日一日が最後の中学校生活となりました。何事にも最後という言葉を意識すると、責任感や、やる気などが自然とわいてきました。先輩方が考えてこられたものに、私たちらしい工夫を加え、作り上げた新しい体育大会。夏休み、団長を中心にリーダーが学校に来て、優勝するためには何をしたらいいのかを話し合い、それぞれの団が、スローガン「輝」のもと、一人一人が輝き、全力で取り組むことができました。例年はジュピターホールで行われる文化祭も昨年度と同じく体育館で行いました。全員がマスクをする中、一人一人が声を出し、金賞や文化祭大賞を目指しました。学年合唱の「手紙」。最後の「拝啓この手紙読んでいるあなたが、幸せなことを願います。」という歌詞では、中学校で一緒に過ごした仲間の姿と感謝の気持ちなど色々な感情があふれてきました。

３年間、最後まで取り組んだ、部活動。一人一人が、目標に向かって、汗を流し、熱心に取り組みました。部活動では、仲間の大切さや最後までやりきることの大切さを学べました。こうして振り返ってみると、私たちは、多くの方々の支えがあって、今があるんだと気付かされます。

在校生の皆さん。皆さんとは、部活動や行事を通じて時間を共にすることができました。皆さんがいてくれたおかげで、少しでもいいお手本になろうと努力することができました。しかし、最上級生として皆さんを引っ張っていけない時もあったと思います。それでもそんな私たちを支えてくださりありがとうございました。次は皆さんが引っ張っていく時です。執行委員だけでするのではなく、先生方の力も借りて、今よりもっとすばらしい和田山中学校になるように全校生で協力してください。応援しています。

そして、僕たちと真剣に向き合い、学びを支えてくださった先生方。学習はもちろん、部活動など様々なところで優しく指導してくださいました。先生方のおかげで少しずつ成長していくことができました。本当にありがとうございました。

３年間、ともに過ごした、みんな。たくさんの困難もこのメンバーだから乗り越えることが出来ました。笑い合い、会話があふれた休み時間。真剣に、考え取り組んだ授業。そんなみんなと、この３年間を送れたことにとても感謝しています。ありがとう。これからの高校生活でそれぞれの道を歩んでいきましょう。

最後に、一番の理解者であり、私たちを育ててくれた家族へ。時にはわがままを言って迷惑をかけたと思います。それでも、いつもそばで見守ってくれたので、今日、このような卒業式を迎えることが出来ました。まだまだ、迷惑や心配をかけることがあると思います。そんな時は、また温かく支え、寄り添ってほしいです。本当にありがとうございました。

今日私たちは、９年間の義務教育を終え、新たなスタートラインに立っています。春から始まる、それぞれの道に向かって目標をしっかり持って(レッツチャレンジ)強く歩んでいきたいと思います。

令和４年３月９日　　卒業生代表　　能 由都輝

卒業生入場

卒業証書授与

卒業記念品贈呈

在校生送辞

卒業生答辞

卒業生退場

最終学活

卒業生見送り